

＜一羽の雀でさえも＞

ルカ 12 : 4～7



*絵本「ママのスマホになりたい」

「本来の自分」を知ってほしい！

「自分」が受け入れられている事を実感。充足できたら何かが変わる？

◆人は何か嫌な目に遭うごとに、自分を守るための鎧を着ける。重くて窮屈に感じて、いざ鎧を脱ぎたいと思っても脱ぎ方がわからない。

【ザアカイ】

イエスさまと出会って、自分を塗り固めていた鎧を脱ぎ捨てた人。

イエスは、ちょうどそこに来られて、上を見上げて彼に言われた。

「ザアカイ。急いで降りてきなさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」

ルカ 19 : 5

ザアカイは嬉しかった！ 急いでいちじく桑の木から降りてきて、そして大喜びでイエスを迎えた。しかしこれを見ていた人は……「あの方は罪人のところに行って客となられた」とつぶやいた。

ザアカイ ……「主よ。ご覧ください。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。

また、だれからでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します。」

イエスさま……「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのでから。

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」

5羽の雀の内の1羽はおまけ！

雀は一羽では商品価値がなく、二羽をワンセットで売っていた。

アサリオンは当時の最小貨幣単位。

「一羽の雀」は値がつかないくらい安いもの。価値の低いものの代表。

◆天の父なる神は、一羽では売り物にならないような価値のない雀さえ、見守り、心に留めておられる。これは雀の話ではなく、私たちのこと。

◆恐れがある。その恐れるを振り払って真の勇気を持つようになれる秘訣は、本当に畏れるべきお方は神であることを知ることからくる。

新聖歌「心くじけて」 英語タイトル「His Eye is on the Sparrow」

この歌の誕生秘話。 歌詞を書いたシビラ・マーティン話。

◆「おまけ」でついてくるような一羽の雀。そんな雀のような自分の人生に起きる様々なことさえも、天の父なる神は雑に扱わず、私たちの人生を大切に思ってくださっている。